財団法人　愛知県埋蔵文化財センター

年報

平成
9年度

1998

㈶愛知県埋蔵文化財センター

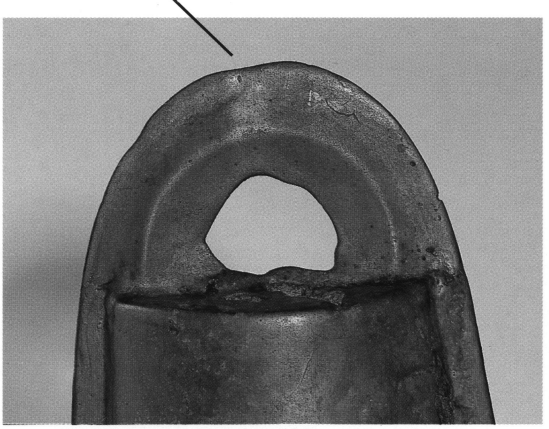
八王子遺跡出土の銅鐸

銅鐸は器高21.6㎝で、型式は外縁付鈕１式である。紋様は２区の流水紋で、６ｃ６ｘという最古段階の流水紋であることがわかった。流水紋銅鐸としては全国で最小である。

また、鈕のほぼ中央部には縦方向の光沢がみられ、その上下がわずかにくぼんでいることから、銅鐸を紐で吊した際についた紐擦れの痕跡と考えられる。このような痕跡が本例ほど明瞭な状態で認められたのは全国でも初めてである。

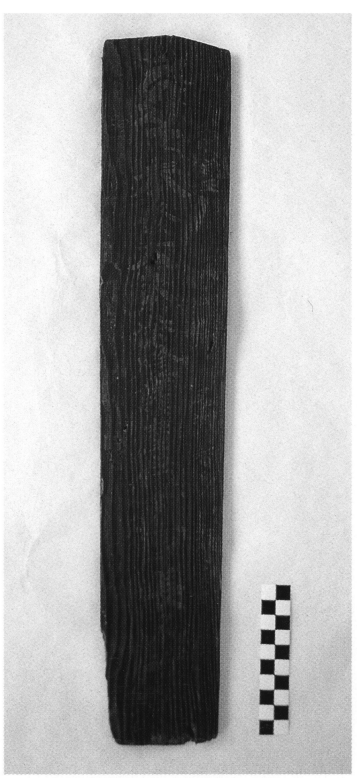


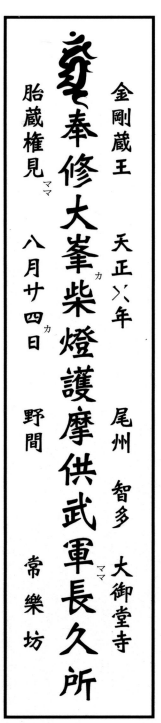
鈕に残る紐擦れの痕跡





流水紋





護摩札読み

大脇城跡出土護摩札

総高51.0㎝、肩幅9.4㎝、下幅7.7㎝、厚さ0.8㎝の圭頭形をした護摩札は、大脇城跡９７Ｂ区ＳＤ07最下層から出土した。記されている文字は梵字も含めて４５字、墨はほとんど残っておらず、墨書部分が周囲よりわずかに隆起している。「天正〆（1576）年」、「大御堂寺」などの文字は、大脇城跡の研究、また、当時の地域史、精神生活を知る重要な資料となりうるであろう。

序

平成９年度、当センターは設立１３年目を迎えました。今年度は県内２７遺跡において発掘調査および範囲確認調査を実施し、多くの成果があがっております。

なかでも、瀬戸市の上品野遺跡では、約３万年前の旧石器が出土し、瀬戸市域の歴史を大きくさかのぼらせることとなりました。また、昨年度末に一宮市八王子遺跡から出土した銅鐸について、その後の調査の結果、鈕の部分にひもで結ばれていた痕跡を発見したことは全国でも初例となりました。

今年度もこれらの発掘調査の概要や調査研究、普及活動などの記録を「年報　平成９年度」としてとりまとめました。本書が考古学の研究はもとより、埋蔵文化財の保護と活用の上でもお役に立つことができれば、まことに幸いに存じます。

本書の刊行および発掘調査に当たっては、理事・専門委員の諸先生方および愛知県教育委員会のご指導を賜るとともに、建設省・日本道路公団・住宅都市整備公団・愛知県土木部・愛知県教育委員会・地元各市町村・そのほか関係者の方々から多大なご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

平成10年３月

財団法人　愛知県埋蔵文化財センター

理事長　安部 功

例　言

1．本書は財団法人愛知県埋蔵文化財センターの平成９年度における事業の概要をまとめたものである。
2．発掘調査および整理報告書の作成は、建設省中部地方建設局、日本道路公団名古屋建設局、住宅都市整備公団、愛知県土木部から、愛知県教育委員会を通じて委託を受け、本センターが実施した。
3．調査の概要は、各遺跡毎にまとめて記載した。
4．普及活動の概要は、本センターの事業のうち、研修会・埋蔵文化財展など発掘調査以外の事業について掲載した。
5．調査に当たっては、理事・専門委員の各氏および愛知県教育委員会文化財課、愛知県埋蔵文化財調査センターの指導・助言をいただいた。
6．本書の編集は石黒立人、堀木真美子（調査研究員）が、古橋佳子（調査研究補助員）の協力を得て行った。また、関係各機関や各遺跡の発掘・整理にかかわる作業員の方々に多大な援助を賜った。
7．各遺跡における調査区の座標は、国土座標第Ⅶ座標系に準拠する。
8．各調査区の名称は、Ａ区、Ｂ区・・・のようにローマ数字で表し、調査した西暦年度の下２桁を調査区名の前に冠した。したがって平成９年度の調査区は97〇区となる。

財団法人　愛知県埋蔵文化財センターの組織

役　員

理事長
安部　　功

常務理事
堀尾　満也

理　事

伊藤　　廉	愛知県教育委員会教育長
井関弘太郎	名古屋大学名誉教授
伊藤　秋男	南山大学教授
坪井　清足	財団法人大阪府文化財調査研究センター理事長
楢崎　彰一	愛知県陶磁資料館総長（名古屋大学名誉教授）
渡辺　　誠	名古屋大学教授
間瀬　泰男	都市教育長協議会会長
高田　鉞郎	町村教育長協議会会長
伊佐治　敏	愛知県土木部長
湯之上章良	愛知県教育委員会生涯学習部長
大長　芳雄	愛知県清洲貝殻山貝塚資料館館長
中村　　眞	愛知県陶磁資料館館長

監　事

春日井文人	（非常勤）
山口　和生	愛知県出納事務局次長

専門委員

考古学	楢崎　彰一	愛知県陶磁資料館総長（名古屋大学名誉教授）
文献史学	福岡　猛志	日本福祉大学副学長
地理学	海津　正倫	名古屋大学教授
建築史学	小寺　武久	中部大学教授
考古学・動植物学	渡辺　　誠	名古屋大学教授
形質人類学	池田　次郎	京都大学名誉教授
保存科学	沢田　正昭	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター研究指導部長
岩石学	諏訪　兼位	日本福祉大学教授
木材組織学	木方　洋二	名古屋大学名誉教授

職　員

事務局長（兼管理課長）　鈴木　順一

管理課

課長補佐	市山　　泰	
主　　査	鹿取　健司	
専門員	杉浦　俊雄	
主　　事	渡邉　高夫	大井　　治
	長瀬　尚哉	坂　美貴子

調査課

課　　長	鷲野　　勉	
課長補佐(兼主査)	坂倉　澄夫	福岡　晃彦
主　　査	藤井　孝之	赤塚　次郎
	黒田　哲生	大崎　正敬
	北村　和宏	
主　　任	小澤　一弘	石黒　立人
調査研究員	松田　　訓	伊藤　秀紀
	木下　　一	宮腰　健司
	浅井　厚視	春日井　毅
	中野　良法	後藤　英史
	西原　正佳	山本　寿徳
	酒井　俊彦	池本　正明
	服部　信博	秋田　幸純
	小川　芳範	鈴木　正貴
	樋上　　昇	飴谷　　一
	加藤　博紀	伊藤太佳彦
	堀木真美子	永井　宏幸
	鬼頭　　剛	田中　伸明
	武部　真木	蔭山　誠一
	早野　浩二	

（平成10年２月１日現在）

目　　次

Ⅰ．平成９年度事業の概要 …… 1
Ⅱ．遺跡調査の概要 …… 7
調査の理由と工程 …… 8
遺跡の位置 …… 10
各遺跡の調査概要
上品野遺跡 …… 12
大脇城跡 …… 18
川原遺跡 …… 22
郷上遺跡 …… 32
矢迫遺跡 …… 40
八王子遺跡 …… 42
苅安賀遺跡 …… 44
三ツ井遺跡 …… 50
志賀公園遺跡 …… 56
下津北山遺跡 …… 62
大毛池田遺跡 …… 64
清洲城下町遺跡 …… 66
権現山遺跡 …… 70
郷上北遺跡範囲確認調査 …… 74
今町遺跡範囲確認調査 …… 75
権現山遺跡範囲確認調査 …… 76
瀬戸地域範囲確認調査 …… 78
福池古窯発掘調査報告 …… 79

Ⅲ．調査研究 …… 83
八王子遺跡出土の銅鐸について　樋上　昇 …… 84
志賀公園遺跡と西志賀遺跡、調査の軌跡と再評価 －金城文化財保護委員会所蔵資料を中心に－
北村和宏・西原正佳・永井宏幸 …… 92
朝日遺跡における弥生時代後期方形周溝墓の変遷　宮腰健司 …… 118
豊田市郷上遺跡出土の土師器煮炊具に関する予察　鈴木正貴 …… 133
灰釉系陶器窯の床下施設について －細口下１号窯の事例を中心に－　池本正明 …… 144
松崎遺跡出土の人骨について　堀木真美子 …… 156
古環境解析のための基礎データ －水田産珪藻について－　鬼頭　剛・尾崎和美 …… 165

Ⅳ．埋蔵文化財センターの活動 …… 185
埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会 …… 186
発掘調査技術等研修会 …… 187
現地説明会 …… 187
資料の貸出・提供 …… 188
記者発表 …… 190
検討会 …… 190

Ⅴ．付篇（受贈図書一覧） …… 191